

施策評価調書(1)

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

めざす姿	Ⅳ 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”
施策名	3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進
施策関係課	(環境部)資源循環課・産業廃棄物対策課・収集業務課・戸塚環境センター・朝日環境センター・リサイクルプラザ・鳩ヶ谷衛生センター

●施策の基本方針(目標)
廃棄物の発生抑制や適正な処理、循環資源利用の促進により、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り低減した循環型社会の形成を推進します。

●目標指標							
指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査:Ⅳ－3)				単位	%
	目標値	現状値を上回る(令和7年度)		現状値	41.6(令和2年度)	指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	40.000	42.400	40.700	0.000		
指標②	名称	1人1日あたりの廃棄物排出量				単位	g／人・日
	目標値	784(令和7年度)		現状値	826(令和元年度)	指標の種別	結果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	816.000	795.000	748.000	0.000		
指標③	名称					単位	
	目標値			現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標④	名称					単位	
	目標値			現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標⑤	名称					単位	
	目標値			現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						

事業額	(単位:千円)	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度予算額	令和7年度計画額
	事業費	5,329,392	5,548,158	5,915,007	6,435,032	7,276,148
	概算人件費	1,277,700	1,368,222	1,262,673	1,391,529	1,407,729
	総事業費	6,607,092	6,916,380	7,177,680	7,826,561	8,683,877

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 52	単位施策② 54	単位施策③	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			53.0	

施策評価調書(2)

評価対象年度 令和5年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名 ① 廃棄物の減量化・再資源化								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (予算額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和5年度の 総評価	令和6年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
不法投棄対策事業	環境部	30,941	42,557	74,409	84,003	84,003	52	拡充して実施
	収集業務課	33,970	40,810	65,570	67,230	67,230		
エコリサイクル推進事業所登録事業	環境部	141	36	0	10	10	34	縮小して実施
	資源循環課	948	1,617	1,580	1,296	1,296		
廃棄物対策審議会経費	環境部	275	247	290	305	305	56	現状維持で実施
	資源循環課	3,397	3,234	4,266	3,807	3,807		
路上喫煙防止事業	環境部	43,615	62,924	68,544	68,785	73,253	54	現状維持で実施
	資源循環課	16,827	16,401	18,249	18,711	18,711		
廃棄物減量啓発事業	環境部	11,690	11,365	14,337	14,008	14,008	52	効率化して実施
	資源循環課	12,561	9,086	8,927	18,549	18,549		
クリーン推進員事業	環境部	15,458	13,843	15,200	14,836	16,800	46	現状維持で実施
	資源循環課	4,898	3,465	2,765	1,863	1,863		
事業系廃棄物対策事業	環境部	701	732	801	1,059	1,037	56	現状維持で実施
	資源循環課	20,935	22,099	21,251	21,789	21,789		
一般ごみ収集運搬事業	環境部	925,258	925,258	920,789	954,084	977,884	52	現状維持で実施
	収集業務課	482,880	479,760	434,080	449,520	449,520		
粗大ごみ収集運搬事業	環境部	152,561	151,726	156,137	180,472	186,265	52	現状維持で実施
	収集業務課	3,950	3,850	3,950	4,050	4,050		
資源物回収事業	環境部	536,333	551,193	552,163	600,788	639,393	54	現状維持で実施
	収集業務課	355,000	453,400	362,400	461,781	477,981		
全市一斉クリーンタウン作戦事業	環境部	1,155	1,459	1,099	1,570	1,570	50	現状維持で実施
	収集業務課	4,582	7,700	7,900	8,100	8,100		
散乱防止及び環境美化促進事業	環境部	205	196	280	550	550	51	効率化して実施
	収集業務課	7,584	924	948	972	972		
ごみ処理事業	環境部	1,359	2,110	1,792	2,267	2,267	52	現状維持で実施
	収集業務課	948	4,466	4,582	4,698	4,698		
環境啓発事業	環境部	2,315	2,993	1,939	2,896	2,896	56	現状維持で実施
	リサイクルプラザ	7,900	7,700	7,900	6,075	6,075		
リサイクルプラザ健康浴室等運営費	環境部	103,735	92,490	96,213	115,345	115,345	50	現状維持で実施
	リサイクルプラザ	5,925	5,775	5,530	4,455	4,455		
再商品化委託事業	環境部	20,305	22,132	22,126	22,947	22,947	54	現状維持で実施
	リサイクルプラザ	2,370	2,310	2,370	2,430	2,430		
資源物等選別事業	環境部	202,370	204,569	208,759	232,493	232,493	56	現状維持で実施
	リサイクルプラザ	22,515	21,945	22,515	23,085	23,085		
資源回収団体助成事業	環境部	107,788	103,793	95,584	98,915	98,915	56	現状維持で実施
	リサイクルプラザ	3,160	3,080	3,160	1,620	1,620		
3R推進活動等助成事業	環境部	67,349	66,776	65,955	67,820	67,820	54	現状維持で実施
	リサイクルプラザ	2,765	2,695	2,765	2,430	2,430		

単位施策名	② 廃棄物の適正処理の推進							
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (予算額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和5年度の 総評価	令和6年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
産業廃棄物対策事業	環境部	2,865	3,677	2,820	4,120	4,120	58	現状維持で実施
	産業廃棄物対策課	37,525	42,735	45,267	51,759	51,759		
PCB廃棄物調査指導事業	環境部	12,471	3,146	1,075	403	403	60	現状維持で実施
	産業廃棄物対策課	22,120	15,785	14,378	8,181	8,181		
車両経費	環境部	44,392	50,263	57,987	59,306	139,569	54	現状維持で実施
	収集業務課	3,555	3,465	3,555	3,645	3,645		
小動物死体収集運搬事業	環境部	7,741	7,540	8,057	9,352	9,384	52	現状維持で実施
	収集業務課	6,320	1,540	1,580	1,620	1,620		
厚生会館施設管理費	環境部	15,042	15,740	19,537	22,757	22,757	50	現状維持で実施
	戸塚環境センター	1,975	1,925	1,975	2,430	2,430		
戸塚環境センタープラント運営費	環境部	909,049	986,474	1,120,208	1,200,125	1,235,916	54	現状維持で実施
	戸塚環境センター	136,354	133,749	136,196	139,806	139,806		
戸塚環境センターごみ処理事業	環境部	235,272	230,871	222,554	282,429	282,429	54	現状維持で実施
	戸塚環境センター	8,374	8,239	7,505	7,776	7,776		
朝日環境センターごみ処理事業	環境部	204,802	193,549	189,634	239,024	233,504	56	現状維持で実施
	朝日環境センター	3,950	3,850	3,950	4,050	4,050		
朝日環境センタープラント運営費	環境部	1,431,446	1,542,090	1,728,556	1,874,496	2,509,681	54	現状維持で実施
	朝日環境センター	18,170	17,710	18,170	18,630	18,630		
鳩ヶ谷衛生センターごみ処理事業	環境部	42,699	41,796	42,854	42,256	43,363	54	現状維持で実施
	鳩ヶ谷衛生センター	24,596	29,426	29,402	30,678	30,678		
し尿収集事業	環境部	15,014	14,707	14,267	14,320	14,320	52	現状維持で実施
	鳩ヶ谷衛生センター	6,557	6,237	6,399	6,561	6,561		
し尿処理施設管理費	環境部	185,045	201,906	211,041	223,291	242,941	54	現状維持で実施
	鳩ヶ谷衛生センター	15,089	13,244	13,588	13,932	13,932		

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和5年度

事業名称	不法投棄対策事業				担当	環境部	
						収集業務課	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	446-7525	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	14	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅳ 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化					
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等		同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市の排出ルールが守られないごみ集積所に対し、粗大ごみ等の不法投棄物の回収等を行い環境の改善及び保持を図る。		1 職員によるパトロール及び不法投棄物等の回収 2 業務委託による監視・回収 3 「川口市ごみ不法投棄監視ウィーク」における啓発活動		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	1 職員によるパトロール及び不法投棄物等の回収を土日祝日を除き毎日実施した。 2 業務委託による不法投棄監視を261日実施した。 3 業務委託による不法投棄回収を365日実施した。 4 「川口市ごみ不法投棄監視ウィーク」において西川口駅頭にて啓発活動を実施した。		ルール違反が顕著なごみ集積所において職員によるパトロールや定曜日以外の回収及び不法投棄回収委託の地区を拡張し、迅速な対応を行い、環境の改善及び保持を行った。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	不法投棄処理件数(市民からの通報による)			指標・目標値の説明(算定式)	前年度処理実績の95パーセント		
	単位	件	指標の種別	結果				
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
		7,250.00	7,168.00	7,294.00	5,029.00	4,777.00		
	実績値・達成状況	7,545.00	未達成	7,678.00	未達成	5,294.00	達成	
指標②	名称	不法投棄処理量			指標・目標値の説明(算定式)	前年度処理実績の95パーセント		
	単位	トン	指標の種別	結果				
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
		219.53	220.48	284.89	285.51	271.23		
	実績値・達成状況	232.08	未達成	299.89	未達成	300.54	未達成	

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	2 項	4 目	5 細目	3 細々目	不法投棄対策事業	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
予算額(A)	32,616	43,916	75,430	84,003	84,003			
決算額(B)=(C)+(D)	30,941	42,557	74,409					
財源※	特定財源(C)	9	2,623	2,865	3,000			
	一般財源(D)	30,932	39,934	71,544	81,003			
概算人件費(E)	33,970	40,810	65,570	67,230	67,230			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	4.30	0.00	5.30	0.00	8.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	64,911	83,367	139,979	151,233	151,233			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策				今後の実施方向性	
52 ／60	ルール違反ごみを無くすことは非常に難しいため、周知啓発活動や指導と併せて不法投棄対策を行う必要がある。今後は監視や回収方法を見直し取り組む必要がある。				翌年度	拡充して実施
					翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	エコリサイクル推進事業所登録事業				担当	環境部 資源循環課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5370	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	7	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅳ 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化					
根拠法令等	川口市エコリサイクル推進事業所登録実施要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民及び登録事業所		市民及び登録事業所	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	環境保全への取組みを行っている店舗等を川口市エコリサイクル推進事業所として登録することにより、地域に貢献する企業市民として評価し、循環型社会の形成に寄与する。		3R及び地球温暖化対策に取組む事業所の登録 登録事業所からの報告受領 市ホームページにおける登録事業所の広報	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	登録事業所数:138 報告書受領数:120 市ホームページ掲載事業所数:138 イベント等による登録事業所周知活動回数:1		ごみ減量・リサイクル活動・地球温暖化対策に積極的な登録事業所の 姿勢を市民に対し周知を行い、循環型社会の形成に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	登録者数				指標・目標値の説明(算定式)	現状維持				
	単位	事業所	指標の種別	結果							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		0.00		0.00		138.00		138.00		138.00	
	実績値・達成状況	136.00		135.00		138.00	達成				

指標②	名称	イベント等での登録事業所の周知活動				指標・目標値の説明(算定式)	川口市市産品フェア等のイベントにて事業者、来場者等に対し登録事業所の周知活動を行う。(1回/年)				
	単位	回	指標の種別	活動							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00	
	実績値・達成状況	1.00	達成	1.00	達成	1.00	達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		4 款	2 項	2 目	2 細目	2 細々目	エコリサイクル推進事業所登録事業	
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)	141		75		50		10		10
決算額(B)=(C)+(D)	141		36		0				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0	
	一般財源(D)	141		36		0		10	
概算人件費(E)	948		1,617		1,580		1,296		1,296
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.12	0.00	0.21	0.00	0.20	0.00	0.16 0.00 0.16 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,089		1,653		1,580		1,306		1,306

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	9 /15	効率性	期待どおりの成果	期待以下	5 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込めない			目的に対する事業内容	不適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
34 /60	容器包装リサイクルの法律制定等を背景に3R推進のため当該事業は開始されたが、3Rの取り組みは登録事業者に限らず浸透してきたものとする。今後当該事業は事業者との廃棄物減量について効果的な協働体制の確立や廃止も含めて方向性を検討していく。		翌年度	縮小して実施
			翌々年度	縮小して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	廃棄物対策審議会経費			担当	環境部 資源循環課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5370	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	7	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化					
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民		市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	一般廃棄物の減量及び適正な処理に関する事項を審議し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上並びに資源が循環して利用される都市の形成を図り、もって市民の健康で快適な生活を確保することを目的とする。		廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、学識経験者、市議会議員、市民、事業者、関係行政機関の職員を委員として、一般廃棄物の減量及び適正な処理に関する事項全般を審議する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・審議会を3回開催 ・朝日環境センターの施設整備について審議 ・委員改選期を迎え、川口市環境部所管附属機関等委員の公募に関する要領に基づき公募委員2名を委嘱するほか関係団体から推薦を受けた13名の委員を委嘱した。		令和5年度は主に朝日環境センター施設整備に関してコスト、防災、プラスチック一括回収等の様々な観点から、審議することができた。これにより施策の推進に寄与することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	1人1日当りごみ排出量(集団資源回収含む)			指標・目標値の説明(算定式)	排出量(集団資源回収を含む)÷人口÷365日 (第7次川口市一般廃棄物処理基本計画)							
	単位	g／人・日	指標の種別	結果									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度			
		808.00		802.00		796.00		790.00		784.00			
	実績値・達成状況	816.00	未達成	795.00	達成	748.00	達成						
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)								
	単位		指標の種別										
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度			
	実績値・達成状況												

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	2 項	2 目	3 細目	1 細々目	廃棄物対策審議会経費	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		305		305		305		305		305
決算額(B)=(C)+(D)		275		247		290				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	275		247		290		305		
概算人件費(E)		3,397		3,234		4,266		3,807		3,807
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.43	0.00	0.42	0.00	0.54	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		3,672		3,481		4,556		4,112		4,112

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 /60	令和5年度は朝日環境センター施設整備について審議した。今後も、一般廃棄物の減量及び適正な処理に関する事項や市の施策等について、委員の意見を聴く重要な会議であることから継続して開催する。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

事業名称	路上喫煙防止事業			担当	環境部 資源循環課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5370	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	17	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅳ 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化					
根拠法令等	川口市路上喫煙の防止等に関する条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民並びに市内滞在者及び通過者		市民並びに市内滞在者及び通過者		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	道路等における喫煙マナー及び環境美化意識の向上を図り、吸い殻の散乱を防止し、安全で快適な歩行空間及び清潔な地域環境を確保する。		条例に基づく路上喫煙の防止について周知徹底するため、広報啓発活動を実施するとともに、委託による指導員を路上喫煙禁止地区に配置し、パトロール及び清掃業務を行う。令和3年6月に策定した川口市路上分煙基本計画に基づき、必要に応じ禁止地区の見直し及び指定喫煙所の改修並びに設置等を行う。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	路上喫煙禁止地区に指導員を毎日配置しパトロール及び清掃業務を実施。また啓発として、横断幕の設置、市内掲示板へのポスター掲示、啓発路面シールの貼付等を行うとともに、11月に各駅禁止地区及び蕨駅東口周辺の市域内で啓発キャンペーンを開催。路上喫煙禁止地区として戸塚安行駅を新規指定及び西川口駅周辺を拡大し両駅に喫煙所を設置。		巡回パトロールによる指導件数は、目標に達成しなかったものの、喫煙所の改修、設置及び啓発活動を継続的に実施した結果、一定の効果は見られている。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	1駅当たりの喫煙者指導件数			指標・目標値の説明(算定式)	前年度指導実績の90%(小数点以下切上げ)			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		649.00		506.00		525.00		479.00	
	実績値・達成状況	562.00	達成	583.00	未達成	532.00	未達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	2 項	2 目	4 細目	1 細々目	路上喫煙防止事業	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		43,623		64,590		68,617		68,785		73,253
決算額(B)=(C)+(D)		43,615		62,924		68,544				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	43,615		62,924		68,544		68,785		
概算人件費(E)		16,827		16,401		18,249		18,711		18,711
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.35	0.00	2.13	0.00	2.31	0.00	2.31
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		60,442		79,325		86,793		87,496		91,964

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 ／60	1駅あたりの喫煙者指導件数は、健康増進法の改正による原則屋内禁煙の中で、近年喫煙所改修及び設置の実施等の対策を行った駅周辺のその増加数はある程度抑えられている。今後も引き続き路上喫煙者が低減するように、喫煙所の改修、設置及びマナー向上のための啓発手法等の改善を行っていく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	廃棄物減量啓発事業				担当	環境部
						資源循環課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5370	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民及び事業者	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	資源循環型社会実現のための情報提供を行い、ごみの減量やリサイクルの推進を図ることで、市民一人ひとりにごみ問題や資源の有効利用の理解を深めてもらうため。	広報紙による周知啓発、環境関連施設見学会の実施、各種教室・イベント等の実施、施設見学会の実施、各種印刷物の作成	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	広報かわぐち啓発記事掲載年7回、環境部広報紙PRESS530年3回発行、環境関連施設見学年1回実施、出張講座年3回実施、施設見学年2回実施、パネル展示年1回実施、体験教室年1回実施、フードライブ年6回実施・18会場、各種印刷物9種100万部以上作成、WEBアプリケーションによる周知啓発年間470万回アクセス	事業実施により、ごみ減量やリサイクルの推進を図り、市民一人ひとりにごみ問題や資源の有効利用の理解を深める機会を設けたことで、市民の意識醸成を図れた。もって、資源循環型社会形成実現の一助となった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	3R月間各種イベントの参加者数				指標・目標値の説明(算定式)	3R推進月間中に行われるイベント参加者数の過去3年間の平均値 (令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントは行われなかった。)									
	単位	人		指標の種別	結果											
	目標値	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
		374.00			180.00			300.00			475.00			475.00		
	実績値・達成状況	150.00		未達成		750.00		達成		525.00		達成				

指標②	名称	家庭ごみ収集日情報メール配信登録者数				指標・目標値の説明(算定式)	前年度の数値に600人(50人×12ヶ月)の数値を足したもの									
	単位	人		指標の種別	結果											
	目標値	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
		6,040.00			6,636.00			7,274.00			7,770.00			8,370.00		
	実績値・達成状況	6,036.00		未達成		6,674.00		達成		7,170.00		未達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4款	2項	2目	5細目	1細々目	廃棄物減量啓発事業			
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)		12,352		13,106		15,886		14,008		14,008		
決算額(B)=(C)+(D)		11,690		11,365		14,337						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0				
	一般財源(D)	11,690		11,365		14,337		14,008				
概算人件費(E)		12,561		9,086		8,927		18,549		18,549		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.59	0.00	1.18	0.00	1.13	0.00	2.29	0.00	2.29	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		24,251		20,451		23,264		32,557		32,557		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 ／60	時代の要請と市民の利便性、本市の清掃行政体制を鑑みながら、タイムリーで実施効果の高い周知啓発の展開を図り、円滑な清掃行政の推進を図る。	翌年度	効率化して実施
		翌々年度	効率化して実施

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

総評価		事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
46 ／60		ごみ対策に対する市民のニーズは年々高くなっており、必要不可欠な事業である。クリーン推進員の報告書には、外国籍市民に関するもの、町会・自治会非会員に関するものなど、他課にまたがる要望等が多くみられる。今後は関係各課と連携を図りながら効率的で効果的な運営を行う。	翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	事業系廃棄物対策事業				担当	環境部
						資源循環課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5370	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	47	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化					
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市内で事業活動を行なう全ての事業者		市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	事業系一般廃棄物の発生抑制、再生利用の促進などの適正処理を啓発し、事業者が適正処理をすることにより、地域の生活環境の保全、公衆衛生の向上及び循環型社会の構築を推進する。もって市民の健康で快適な生活を確保する。		- 一般廃棄物収集運搬業(ごみ・粗大、処理困難物、し尿・汚泥)の許可、指導 - 浄化槽清掃業の許可、指導 - 再生利用業の指定、指導 - 事業系一般廃棄物の適正処理の指導、啓発 - 新規事業所の再生利用対象物及び廃棄物保管場所設置届の受理	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・NTTタウンページデータによる新規登録事業者、川口商工会議所会員等にリーフレットを合計4,557部配布し適正処理を促した。また、市内掲示板にて、適正処理の啓発を行った。 ・川口駅、西川口駅周辺の店舗訪問指導を417件行うとともに、保健所の食品営業許可更新講習会において、廃棄物の適正処理の説明を178件実施した。		事業系一般廃棄物の適正処理の周知が図られた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	一般廃棄物収集運搬業許可業者契約増減数			指標・目標値の説明(算定式)	市内事業者と一般廃棄物収集運搬業許可業者の契約総件数の5%を次年度の目標値とする。			
	単位	件	指標の種別	結果					
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		264.00		280.00		293.00		310.00	
	実績値・達成状況	314.00	達成	300.00	達成	339.00	達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	2 項	2 目	5 細目	4 細々目	事業系廃棄物対策事業		
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)	813	871		987		1,059		1,037	
決算額(B)=(C)+(D)	701	732		801					
財源※	特定財源(C)	193	26		184	83			
	一般財源(D)	508	706		617	976			
概算人件費(E)	20,935	22,099		21,251		21,789		21,789	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.65	0.00	2.87	0.00	2.69	0.00	2.69
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	21,636	22,831		22,052		22,848		22,826	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	市内事業者に対し、事業系一般廃棄物を適正に処理させることが課題である。そこで、事業者が密集している川口駅、西川口駅周辺の飲食店に対し、保健部、上下水道事業部と合同で啓発指導を実施すると共に、市内全事業者に対する啓発活動を行う。また、これまで同様に適正に処理を行っていない事業者に対し、指導、啓発を行っていく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	一般ごみ収集運搬事業			担当	環境部	
					収集業務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	251-1174	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、同施行規則、関連計画				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民が排出する家庭系の一般ごみ	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	廃棄物を適正に処理し、地域の清潔を保持することで、生活環境の保全及び公衆衛生の向上並びに資源が循環して利用される都市の形成を図り、市民の健康で快適な生活を確保することを目的とする。	一般廃棄物処理実施計画に基づき、市内で排出される家庭系一般ごみを、収集車両により収集し中間処理施設へ運搬する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	家庭系から排出される一般ごみの収集運搬	適正に業務を行い、公衆衛生の向上に寄与することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		4 款	2 項	4 目	4 細目	1 細々目	一般ごみ収集運搬事業			
年度			令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)			925,390		925,390		920,922		954,084		977,884		
決算額(B)=(C)+(D)			925,258		925,258		920,789						
財源※	特定財源(C)		0		0		0		0				
	一般財源(D)		925,258		925,258		920,789		954,084				
概算人件費(E)			482,880		479,760		434,080		449,520		449,520		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	60.00	2.40	60.00	4.80	51.20	8.00	52.80	5.60	52.80	5.60
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			1,408,138		1,405,018		1,354,869		1,403,604		1,427,404		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 ／60	収集業務は、通常収集の他、年末の特別収集も実施した。集積所が増加傾向にある他、車両・人員の確保や物価高騰などの課題があり、官民一体となって対応する必要がある。また、事故防止に係る事務を継続していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	粗大ごみ収集運搬事業			担当	環境部	
					収集業務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	251-1174	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅳ 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、同施行規則、関連計画				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民が排出する家庭系の粗大ごみ	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	廃棄物を適正に処理し、地域の清潔を保持することで、生活環境の保全及び公衆衛生の向上並びに資源が循環して利用される都市の形成を図り、市民の健康で快適な生活を確保することを目的とする。	一般廃棄物処理実施計画に基づき、市内で排出される家庭系粗大ごみを、予約の受付を行い、戸別収集し中間処理施設へ運搬する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	家庭から排出される粗大ごみの収集受付及び収集運搬受付システム更新準備	粗大ごみの収集受付を行い取り残しのないよう実施した。受付システムの更新準備を行った。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		4 款	2 項	4 目	4 細目	2 細々目	粗大ごみ収集運搬事業			
年度			令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)			152,974		154,880		157,336		180,472		186,265		
決算額(B)=(C)+(D)			152,561		151,726		156,137						
財 源 ※	特定財源(C)		83,674		81,014		87,100		84,222				
	一般財源(D)		68,887		70,712		69,037		96,250				
概算人件費(E)			3,950		3,850		3,950		4,050		4,050		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			156,511		155,576		160,087		184,522		190,315		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 ／60	当事業が継続的・効率的に実施できるよう調査研究を行う必要がある。また、個人情報を取り扱っていることから、さらなる管理の強化に努める。 なお、粗大ごみ収集手数料については、収集運搬に係る費用と市民の応益負担を視野に入れながら、調査研究する必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	資源物回収事業				担当	環境部	
						収集業務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-251-1174	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	54	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅳ 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化					
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、同施行規則、関連計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民が排出する家庭系の資源物		市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	廃棄物を適正に処理し、地域の清潔を保持することで、生活環境の保全及び公衆衛生の向上並びに資源が循環して利用される都市の形成を図り、もって市民の健康で快適な生活を確保することを目的とする。		一般廃棄物処理実施計画に基づき、市内から排出される家庭系資源物を収集車両により収集し、中間処理施設へ運搬する。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	家庭から排出される資源物の収集運搬業務		適正な収集を行い、ごみ減量化・資源の有効活用に寄与することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	2 項	4 目	4 細目	4 細々目	資源物回収事業	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		536,910		553,299		555,368		600,788		639,393
決算額(B)=(C)+(D)		536,333		551,193		552,163				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	536,333		551,193		552,163		600,788		
概算人件費(E)		355,000		453,400		362,400		461,781		477,981
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	44.00	2.00	56.00	7.20	54.80	6.00	54.20 5.40 54.20 5.40
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	891,333		1,004,593		914,563		1,062,569		1,117,374

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 ／60	資源物集積所が増加しているため、効率的に収集運搬を行う必要が生じ、適正な人員配置及び配車を行っている。今後も集積所の増加に伴う業務量の増加が懸念されることから、より効果的な収集体制等を検討し実施していく。また資源物の盗難監視については、警備会社、地元警察署と連携をとりながら盗難防止を継続する。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	全市一斉クリーンタウン作戦事業				担当	環境部	
						収集業務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	446-7525	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	12	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化					
根拠法令等	川口市飲料容器等の散乱の防止に関する条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等(市内各町会・自治会及び事業所)		同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	1 市民による地域環境の清潔保持の習慣化 2 ごみのポイ捨ての撲滅		1 毎年11月の第3日曜日に、市民が自宅周辺の地域のポイ捨てごみを拾い、市が指定する一時集積所まで持参する。 2 上記方法で回収されたごみを市が回収し、市の施設で処理する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	1 実施日 令和5年11月19日(日) 2 一時集積所 市内103箇所(主に公園等公共施設) 3 上記一時集積所に市職員を1名ずつ配置し、市民が持参したごみをまとめ、回収した。		参加した市民に対し、地域環境の美化に対する意識を高め、そのための活動を習慣化させる動機を持たせることに成功した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	全市一斉クリーンタウン作戦参加人数				指標・目標値の説明(算定式)	市内各町会・自治会加入世帯数(「広報かわぐち」配布部数による)の約2割					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
		39,280.00		39,310.00		38,890.00		38,820.00		38,820.00		
	実績値・達成状況	13,730.00	未達成	14,020.00	未達成	14,010.00	未達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	2 項	4 目	5 細目	1 細々目	全市一斉クリーンタウン作戦事業	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		1,275		1,488		1,180		1,570		1,570
決算額(B)=(C)+(D)		1,155		1,459		1,099				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	1,155		1,459		1,099		1,570		
概算人件費(E)		4,582		7,700		7,900		8,100		8,100
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.58	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		5,737		9,159		8,999		9,670		9,670

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 ／60	これまでは市広報紙・ポスター・キャスディビジョン・きらり川口情報メール・ホームページなどによりPRを行ってきた。今後もコミュニティビジョン(第一本庁舎2階・3階)の活用などPR方法について工夫し、より多くの市民が参加することを目指す。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	散乱防止及び環境美化促進事業				担当	環境部
						収集業務課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	446-7525	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 12 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化
根拠法令等	川口市飲料容器等の散乱の防止に関する条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市と「まち美化促進プログラム」に基づく協定を取り交わした団体	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	1 快適かつ安全な歩行空間の確保 2 地域環境の清潔の保持	1 市と協定を取り交わした団体が、協定に基づく指定された区域を清掃する。 2 市は、団体に対して、清掃用具の貸与、活動によって発生した廃棄物の回収等によって協力する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	1 市と協定取り交わし済みの団体が、自主的に地域清掃活動を実施した。 2 市は団体からの要請により、発生した廃棄物を回収・処理するとともに、清掃用具の貸与、ボランティア保険への加入によって団体に協力した。	市民による自主的な清掃活動の実施により、地域環境の美化及び市民のポイ捨て防止の意識を向上させることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	環境美化活動団体数				指標・目標値の説明(算定式)	市内10地区に対し各4団体ずつとして設定					
	単位	団体	指標の種別	結果								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
		40.00		40.00		40.00		40.00		40.00		
実績値・達成状況	18.00	未達成	18.00	未達成	19.00	未達成						
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	2 項	4 目	5 細目	2 細々目	散乱防止及び環境美化促進事業			
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)	364	378		443		550		550		
決算額(B)=(C)+(D)	205	196		280						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	205		196		280		550		
概算人件費(E)	7,584	924		948		972		972		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.96	0.00	0.12	0.00	0.12	0.00	0.12	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	7,789	1,120		1,228		1,522		1,522		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	12 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	足りなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策				今後の実施方向性	
51 /60	環境美化団体の意識向上及び登録団体数の増加のため、団体構成要件等の見直しを行ったが、今後も加入団体増を目指し、本事業の周知に努めていく。				翌年度	効率化して実施
					翌々年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

事業名称	ごみ処理事業			担当	環境部	
					収集業務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	446-7525	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	12	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化					
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、特定家庭用機器再商品化法、使用済自動車の再資源化等に関する法律					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	全部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市内のごみ集積所に排出された不法投棄物、ルール違反ごみ等のうち、市の施設で処理することができないもの		市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市内のごみ集積所に排出された不法投棄物のうち、市の施設で処理することができない処理困難物等を適正に処理し、不法投棄物回収事業の円滑な実施を図る。		1 「家電リサイクル法」対象機器の処理 2 「自動車リサイクル法」対象の自動二輪等の処理 3 自動車部品及びタイヤ、廃金属、消火器等処理困難物の処理		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	1 「家電リサイクル法」対象機器6. 9トン进行处理した。 2 「自動車リサイクル法」対象の自動二輪等は回収なし。 3 その他。自動車のタイヤ55本、廃金属等産業廃棄物1. 56トン、消火器58本进行处理した。		市で直接処理することができない不法投棄物を適正に処理することにより、不法投棄物の回収事業を円滑に行え、環境の改善及び保持に繋がった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	2 項	4 目	6 細目	1 細々目	ごみ処理事業	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		1,620		2,367		2,333		2,267		2,267
決算額(B)=(C)+(D)		1,359		2,110		1,792				
財源※	特定財源(C)	0		108		110		165		
	一般財源(D)	1,359		2,002		1,682		2,102		
概算人件費(E)		948		4,466		4,582		4,698		4,698
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.12	0.00	0.58	0.00	0.58	0.00	0.58 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		2,307		6,576		6,374		6,965		6,965

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
52 ／60	少量ではあるが、処理しきれない回収物があり、その処理方法を検討して処分する必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	環境啓発事業				担当	環境部
						リサイクルプラザ
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	228-5306	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	14	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化					
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民、市外からの来館者		施設利用者、受講者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	資源循環型社会実現のための情報提供を行い、ごみ減量やリサイクルの推進を図るもの。また、地球温暖化防止の取組みについての情報提供も行うもの。		ボランティアスタッフとの協働による啓発施設の管理・運営	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	施設見学、無償リサイクル品橋渡しコーナー、リサイクル家具類販売、おもちゃの病院、リサイクル工作展、ごみまるクイズ、図書コーナー、啓発ビデオ上映など		無償リサイクル品橋渡しコーナーや定例イベント、施設見学や展示による情報提供を実施し、ごみ減量とリサイクルの推進を図ることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	無償リサイクル品橋渡しコーナー来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	リサイクルプラザ3階のリサイクルショップに来場し、品物を持ち帰った人の数、(1日1人1回1点持ち帰り)の年間合計。目標値は平成27年度実績による。					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		28,700.00		28,700.00		28,700.00		28,700.00		28,700.00	
	実績値・達成状況	26,236.00	未達成	28,852.00	達成	28,471.00	未達成				
指標②	名称	リサイクル家具類販売入札者数			指標・目標値の説明(算定式)	リサイクル家具類販売の入札人数の年間合計。毎月第3土曜日から第4日曜日に実施。目標値は70人×12回。					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		840.00		840.00		840.00		840.00		840.00	
	実績値・達成状況	1,111.00	達成	1,017.00	達成	817.00	未達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	2 項	8 目	3 細目	1 細々目	環境啓発事業			
年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)	2,583	3,353			2,628		2,896		2,896	
決算額(B)=(C)+(D)	2,315	2,993			1,939					
財源※	特定財源(C)	1,153			1,001		755		990	
	一般財源(D)	1,162			1,992		1,184		1,906	
概算人件費(E)		7,900			7,700		7,900		6,075	
従事職員人数(人)		常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	0.75	0.00	0.75
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		10,215			10,693		9,839		8,971	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 ／60	循環型社会の実現、地球温暖化防止などを啓発すべく、関連イベントを継続的に実施するのはもちろんのこと、これらのPRを一層拡充するため、地球温暖化防止活動推進センターと連携し、更なる来館者の増加を図ってゆく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	リサイクルプラザ健康浴室等運営費				担当	環境部
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	228-5306	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	14	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅳ 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民、特にごみ焼却処理施設周辺地域住民(市内、足立区等)		施設利用者(市民、市民以外)	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	朝日環境センター余熱利用施設「サンアール朝日」の運営を通して、周辺地域住民を中心とした市民に対し、心身の健康増進、ふれあい交流の場を提供する。		朝日環境センター余熱利用施設「サンアール朝日」の運営及び維持管理 ーサンアール朝日施設内容ー 20mプール、大プール、幼児用プール、ジャグジー浴、露天プール、採暖室、男女浴槽、サウナ、水風呂、日本間(休憩室)等	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	サンアール朝日の営業(204日) 施設/設備の修繕(24件) 濾過機等設備点検(年4回) 各種設備機器のメンテナンス(常時)ほか		令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、制限なく営業を行ったため、延べ30, 129人の方々に利用していただくことができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	年間利用者数年間利用者数(リサイクルプラザ)				指標・目標値の説明(算定式)	入場者数の集計結果。 利用券販売数と回数券利用者数の合計。				
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		100,000.00		100,000.00		100,000.00		70,000.00		70,000.00	
		実績値・達成状況	16,594.00	未達成	25,130.00	未達成	30,129.00	未達成			
指標②	名称	年間使用料金				指標・目標値の説明(算定式)	利用券販売額(1年度の合計)				
	単位	千円	指標の種別	結果							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		38,097.00		38,097.00		38,097.00		30,000.00		30,000.00	
		実績値・達成状況	6,312.69	未達成	9,798.38	未達成	12,146.20	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	2 項	8 目	4 細目	1 細々目	リサイクルプラザ健康浴室等運営費	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		106,509		93,429		96,252		115,345		115,345
決算額(B)=(C)+(D)		103,735		92,490		96,213				
財源※	特定財源(C)	6,313		11,804		37,273		27,820		
	一般財源(D)	97,422		80,686		58,940		87,525		
概算人件費(E)		5,925		5,775		5,530		4,455		4,455
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.75	0.00	0.75	0.00	0.70	0.00	0.55 0.00 0.55 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	109,660		98,265		101,743		119,800		119,800

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	低かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
50 /60	オープンから20年以上が経過し、設備等の経年劣化による故障が多発してきているため、サービスの提供が滞らないよう、予防的な修繕や改修等を含め維持管理を徹底していく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	再商品化委託事業			担当	環境部	
					リサイクルプラザ	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	228-5306	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	14	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化					
根拠法令等	容器包装リサイクル法(容リ法)					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	容器包装廃棄物のうちガラスびん、プラスチック製容器包装、ペットボトル		市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	容器包装リサイクル法(容リ法)に基づき、廃棄物のうち容器包装廃棄物の再商品化を指定法人「公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会」(容リ協会)に委託することにより、廃棄物の減量及び再利用を促進し、もって循環型社会の構築を図る。		分別収集適合物のうち、事業者負担分は容リ協会との無償引取り契約、また市町村負担分については、有償の委託契約を締結、さらに引き取り対象外のカレット残渣についても有償で民間に再商品化を委託する。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	ガラスびんの一部を売却し、ガラスびん(茶色の一部、その他の色)、プラスチック製容器包装、ペットボトル(一部)を容リ協会へ引き渡した。ガラスびん分別後のカレット残渣については、民間の事業者に再商品化(路盤材利用)を委託している。		市が容リ協会へ引き渡した結果として、ガラスびん(茶色の一部、その他の色)、プラスチック製容器包装、ペットボトルの再商品化が可能となった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	カレット残渣の発生抑制			指標・目標値の説明(算定式)	カレット残渣量(トン)÷びん搬入量(トン)=カレット残渣率(%)			
	単位	%	指標の種別	成果					
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
		33.33	33.33	33.33	33.30	33.30			
	実績値・達成状況	24.24	達成	27.50	達成	29.45	達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	2 項	8 目	6 細目	1 細々目	再商品化委託事業		
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
予算額(A)	22,565	22,540	23,106	22,947	22,947				
決算額(B)=(C)+(D)	20,305	22,132	22,126						
財源※	特定財源(C)	20,305	22,132	22,126	22,947				
	一般財源(D)	0	0	0	0				
概算人件費(E)	2,370	2,310	2,370	2,430	2,430				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	22,675	24,442	24,496	25,377	25,377				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 ／60	資源の再商品化にあたり、老朽化のため機械による選別では、以前のような精度が保たれなくなっている。ガラスびんを始め各種資源物の選別方法の改善を引き続き検討するとともに、老朽化した機械の更新計画を進める。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

事業名称	資源物等選別事業			担当	環境部	
					リサイクルプラザ	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	228-5306	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	14	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化					
根拠法令等	容器包装リサイクル法(容リ法)					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	廃棄物のうち資源物11品目		市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	容器包装リサイクル法(容リ法)に基づき、廃棄物のうち容器包装廃棄物を再商品化のため指定法人「公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会」に引き渡し、また入札により民間に売却を行なうことで、廃棄物の減量及び再利用を促進し、もって循環型社会の構築を図る。		プラスチック製容器包装、びん、飲料かん、金属類、ペットボトル、紙類の異物を取り除き、再商品化のため容リ協会へ引渡し及び民間に売却するための選別を行う。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	資源物11品目の手選別を行い、ガラスびん白色と茶色の一部、飲料かん、金属類、ペットボトル、繊維類、紙バック、新聞、雑誌雑紙、段ボール、紙製容器包装を売却した。ガラスびん茶色の一部とその他の色、プラスチック製容器包装、ペットボトルを容リ協会へ引き渡した。		搬入された資源物を選別することで、ガラスびん(茶色の一部とその他の色)、プラスチック製容器包装、ペットボトルの一部を容リ協会へ引き渡し、それ以外の資源物を売却できた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	飲料かんリサイクル率の向上			指標・目標値の説明(算定式)	売却量(kg)÷飲料かん搬入量(kg)=リサイクル率(%)			
	単位	%	指標の種別	成果					
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		82.00		82.00		82.00		82.00	
	実績値・達成状況	83.01	達成	82.87	達成	82.83	達成		
指標②	名称	ペットボトルリサイクル率の向上			指標・目標値の説明(算定式)	売却、引渡量(kg)÷ペットボトル搬入量(kg)=リサイクル率(%)			
	単位	%	指標の種別	成果					
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		85.00		85.00		85.00		85.00	
	実績値・達成状況	83.16	未達成	83.41	未達成	85.74	達成		

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	2 項	8 目	6 細目	2 細々目	資源物等選別事業	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		205,811		206,864		211,004		232,493		232,493
決算額(B)=(C)+(D)		202,370		204,569		208,759				
財源※	特定財源(C)	187,839		204,569		208,759		232,493		
	一般財源(D)	14,531		0		0		0		
概算人件費(E)		22,515		21,945		22,515		23,085		23,085
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.85	0.00	2.85	0.00	2.85	0.00	2.85
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		224,885		226,514		231,274		255,578		255,578

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	ペットボトルは、資源物の価値を上げるために、中身の飲料やキャップ、ラベルを取り除く必要があるため、市民への周知を図るべくプレス530への掲載、施設見学者への呼びかけを継続的に実施する。並行して老朽化した機械の更新計画を進める。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

事業名称	資源回収団体助成事業			担当	環境部 リサイクルプラザ	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	228-5306	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	53	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化					
根拠法令等	川口市集団資源回収団体助成金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	集団資源回収登録団体(町会・自治会・子供会・婦人会・PTA等)		市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	廃棄物の減量及び再資源化を促進し、ごみ問題に対する市民の意識の向上に資すること。		資源物(紙類、繊維類)を各団体で回収し、回収した資源物1kgに対して10円を助成している。申請は3か月ごと年4回に分けて申請する。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	各団体が回収した資源物の回収量1kgに対して10円を助成した。		廃棄物の減量及び再資源化が促進され、ごみ問題に対する市民の意識の向上とごみ処理に係る経費の削減に繋がった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	団体登録数				指標・目標値の説明(算定式)	交付対象となる団体数				
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		430.00		425.00		425.00		416.00		416.00	
	実績値・達成状況	425.00	未達成	423.00	未達成	416.00	未達成				
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	2 項	8 目	6 細目	3 細々目	資源回収団体助成事業	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		115,880		106,289		99,660		98,915		98,915
決算額(B)=(C)+(D)		107,788		103,793		95,584				
財源※	特定財源(C)	0		0		95,584		0		
	一般財源(D)	107,788		103,793		0		98,915		
概算人件費(E)		3,160		3,080		3,160		1,620		1,620
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	0.20 0.00 0.20 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	110,948		106,873		98,744		100,535		100,535

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	回収団体の人員不足及び高齢化により登録団体数が減少傾向だが、地区内の回収事業が継続できるようNPO団体等の紹介を行っている。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	3R推進活動等助成事業			担当	環境部	
					リサイクルプラザ	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	228-5306	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	19	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化					
根拠法令等	川口市3R推進活動等助成金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	町会及び自治会 (地方自治法(昭和22年法律第67号)第260条の2第1項に規定する地縁による団体のうち、市長が認めるもの)		市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	地域住民が相互に協力して行う3R推進活動等に対して助成することにより、廃棄物問題に対する市民の意識の向上を図り、もって循環型社会の構築に資するとともに、地域コミュニティ意識の醸成に寄与することを目的とする。		地域住民が相互に協力して行う3R推進活動(一般廃棄物の減量化、再使用及び再資源化の推進に資する活動)並びに一般廃棄物の適正処理の推進、集積所の整備及び美化、不法投棄の防止、地域環境の美化に資する活動に対して、助成を行った。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	町会・自治会1団体に対して、加入世帯数×400円を助成(千円未満は切捨て)		市民の廃棄物問題に対する意識の向上、循環型社会の構築及び地域コミュニティ意識の醸成を図ることができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	交付団体数				指標・目標値の説明(算定式)	交付対象となる町会・自治会の団体数				
	単位	団体	指標の種別	結果							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		230.00		231.00		230.00		230.00		230.00	
	実績値・達成状況	230.00	達成	231.00	達成	230.00	達成				
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	2項	8目	7細目	1細々目	3R推進活動等助成事業			
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)	67,430	66,776		66,198		67,820		67,820		
決算額(B)=(C)+(D)	67,349	66,776		65,955						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	67,349		66,776		65,955		67,820		
概算人件費(E)		2,765		2,695		2,765		2,430		2,430
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.35	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	70,114	69,471		68,720		70,250		70,250		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 ／60	本事業を通じて、廃棄物問題に対する更なる市民の意識向上とごみの減量化・地域の環境美化への実効性を高めるため、3Rの推進について継続的に情報の発信と提供を行う。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和5年度

事業名称	産業廃棄物対策事業				担当	環境部	
						産業廃棄物対策課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5380	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、使用済自動車の再資源化等に関する法律、川口市廃棄物処理施設の設置等の手続に関する条例、川口市土砂の堆積等の規制に関する条例

2 事業概要

事務分類	法定受託事務	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) ・産業廃棄物処理業者、産業廃棄物排出事業者 ・その他、産業廃棄物に関係する事業者 ・自動車リサイクル法登録業者・許可業者 ・土砂を堆積する事業者	受益者(最終的に受益を受ける人) ・市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために) ・産業廃棄物等の適正処理及び処理施設等の適正な維持管理を確保することにより、良好な生活環境の保全を図る。 ・土砂を堆積する行為に対して、必要な規制を行うことで無秩序な土砂堆積を防止し、市民の生活の安全の確保と、良好な生活環境の保全を図る。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) ・許可申請等に対する審査 ・不適正処理の防止のための指導 ・土砂の堆積行為に係る規制	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ・産業廃棄物処理業者等の許可申請等に対する審査 ・産業廃棄物処理施設等の適正な維持管理の指導 ・土砂の堆積に係る許可申請、定期報告等に対する審査 ・産業廃棄物等の不適正処理や土砂の堆積に関する監視・パトロール、立入検査、指導、及び、啓発パンフレット作成	事業の成果【定性的評価】 適正かつ迅速に産業廃棄物処理業者等の許可申請等に対する審査を行うことができた。 産業廃棄物等の不適正処理の未然防止や住民との紛争予防、施設等の適正な維持管理を確保することにより生活環境に大きく影響を与える事案の発生を防止できた。また、土砂の堆積に係る規制を行うことで、無秩序な土砂の堆積を防止できた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	立入検査実施件数				指標・目標値の説明(算定式)		産業廃棄物処理業者や土砂の堆積事案等に係る立ち入り検査の実施件数									
	単位	件		指標の種別		活動											
	目標値	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			
		540.00			540.00			540.00			540.00			540.00			
	実績値・達成状況	668.00		達成		1,012.00		達成		777.00		達成					
指標②	名称						指標・目標値の説明(算定式)										
	単位				指標の種別												
	目標値	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			
	実績値・達成状況																

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	2 項	3 目	1 細目	2 細々目	産業廃棄物対策事業			
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)		3,522				4,506		3,730		4,120		
決算額(B)=(C)+(D)		2,865				3,677		2,820				
財 源 ※	特定財源(C)	2,681				1,072		644		901		
	一般財源(D)	184				2,605		2,176		3,219		
概算人件費(E)		37,525				42,735		45,267		51,759		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	4.75	0.00	5.55	0.00	5.73	0.00	6.39	0.00	6.39	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		40,390				46,412		48,087		55,879		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策				今後の実施方向性	
58 ／60	廃棄物処理法に基づく申請に先立ち、手続条例に係る関係住民への周知等を事業計画者に適正に実施させることで、紛争予防に寄与する。また、産業廃棄物、土砂堆積に係る定期的な監視・パトロールを実施することで、生活環境に大きく影響を与える事案の発生を防止する。				翌年度	現状維持で実施
					翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	PCB廃棄物調査指導事業				担当	環境部
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5380	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 元 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進
根拠法令等	ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律

2 事業概要

事務分類	法定受託事務	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) PCB廃棄物等を所有している事業者 電気工事事業者	受益者(最終的に受益を受ける人)	市民等 PCB廃棄物を保有している事業者
事業の概要	事業の目的(何のために) 高濃度のPCB廃棄物は、その種類ごとに令和3年度または令和4年度末までに、また、低濃度のPCB廃棄物は令和8年度末までに処分しなくてはならない。そのため、処分対象者を把握し指導することで、期限までの適正処理を図る。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	PCB廃棄物の保有状況の把握及び適正処理の指導
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ・PCB廃棄物等の保有状況の把握(掘り起し調査) ・PCB特措法に係る届出等の受理 ・PCB廃棄物保管事業者等への立入検査等による適正処理の指導 ・パンフレットの作成及び関係団体への配布等による啓発	事業の成果【定性的評価】	PCB廃棄物の保有者を把握し指導したことで、PCB廃棄物の適正処理が進展した。また、PCB廃棄物の期限内適正処理について広く啓発したところ、県及び国から提供されたリストに掲載されていない新たなPCB廃棄物保有者の掘り起しに繋がった。

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	PCB廃棄物所有状況調査の進捗(新規把握)				指標・目標値の説明(算定式)	PCB廃棄物の所有が疑われる事業者のうち、新規把握の事業者(事業場)の件数					
	単位	件	指標の種別	成果								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
		0.00		0.00		0.00		10.00		5.00		
	実績値・達成状況	0.00	達成	0.00	達成	0.00	達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	2 項	3 目	1 細目	4 細々目	PCB廃棄物調査指導事業			
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)	13,724	4,353		1,225		403		403		
決算額(B)=(C)+(D)	12,471	3,146		1,075						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	12,471		3,146		1,075		403		
概算人件費(E)	22,120	15,785		14,378		8,181		8,181		
従事職員人数(人)	常勤 再任用	2.80	0.00	2.05	0.00	1.82	0.00	1.01	0.00	1.01 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	34,591	18,931		15,453		8,584		8,584		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待以上	15 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
60 ／60	高濃度の変圧器・コンデンサの処分期限が経過しているため調査を終了しているが、新たに所有者を把握した際には適時対応する。 また低濃度PCB廃棄物の期限内処分を達成するため、立入調査などにより効率的かつ積極的に処理責任者に対し処理を促していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	車両経費			担当	環境部	
					収集業務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	251-1174	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	23	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進					
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、同施行規則、関連計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	直営の車両に係る管理、運営事業		市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	廃棄物を適正に処理し、地域の清潔を保持することで、生活環境の保全及び公衆衛生の向上並びに資源が循環して利用される都市の形成を図り、市民の健康で快適な生活を確保することを目的とする。		一般ごみ、資源物に係る収集運搬	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	当該事業は公共性が高く、適正な業務の施行には安定かつ継続的な収集体制の確保と維持が必要不可欠であり、廃棄物の収集を円滑、効率よく安全に行うために、車検及び点検整備等を実施した。		市民全体を対象としている事業のため、公平性に関しては適正である。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	塵芥車等の買替台数			指標・目標値の説明(算定式)	塵芥車買替計画に基づく買替台数(令和2年度～6年度該当なし)			
	単位	台	指標の種別	活動					
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		0.00		0.00		0.00		0.00	
	実績値・達成状況	0.00	—	0.00		0.00			7.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		4 款	2 項	4 目	3 細目	1 細々目	車両経費			
年度			令和3年度		令和4年度		令和5年度			令和6年度		令和7年度	
予算額(A)			44,393		50,264		66,936			59,306		139,569	
決算額(B)=(C)+(D)			44,392		50,263		57,987						
財源※	特定財源(C)		480		480		480			480			
	一般財源(D)		43,912		49,783		57,507			58,826			
概算人件費(E)			3,555		3,465		3,555			3,645		3,645	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.45	0.00	0.45	0.00	0.45	0.00	0.45	0.00	0.45	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			47,947		53,728		61,542			62,951		143,214	

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	小動物死体収集運搬事業			担当	環境部 収集業務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	251-1174	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅳ 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、同施行規則、関連計画				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民や通行者から、道路上等にある小動物の死体の通報を受付するとともに、収集運搬を行う。	市民及び市内通行者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	廃棄物を適正に処理し、地域の清潔を保持することで、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図り、市民の健康で快適な生活を確保することを目的とする。	一般廃棄物処理実施計画に基づき、市内から寄せられる通報や連絡を受け、小動物の死体を収集し、中間処理施設へ運搬する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	犬・猫等の小動物死体収集	速やかに対応し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		4 款	2 項	4 目	4 細目	3 細々目	小動物死体収集運搬事業			
年度			令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)			8,703		9,283		9,000		9,352		9,384		
決算額(B)=(C)+(D)			7,741		7,540		8,057						
財 源 ※	特定財源(C)		241		245		230		232				
	一般財源(D)		7,500		7,295		7,827		9,120				
概算人件費(E)			6,320		1,540		1,580		1,620		1,620		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.80	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			14,061		9,080		9,637		10,972		11,004		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 ／60	道路上や公共施設からの収集に関する案件の他、庭先など私有地からの収集に関する案件があり、事前の聞き取りや十分な説明を行うことで市民ニーズに対応していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和5年度

事業名称	厚生会館施設管理費				担当	環境部	
						戸塚環境センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-295-0131	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	52	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅳ 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進					
根拠法令等	川口市厚生会館設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	(公社)シルバー人材センター		市民(主に戸塚環境センター周辺の地域住民)		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	戸塚環境センター焼却炉の余熱を利用し、市民の健康保持と福祉の増進に寄与するとともに、地域住民還元施設として設置運営		入浴施設及び交流スペースを提供している。施設を利用する際、大人220円、60歳以上100円、小人100円の使用料を徴し、月曜祝日を除き、午前10時から午後5時開館		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	入浴施設の運営・修繕。		エネルギーの再利用を通じて、周辺地域住民にごみ処理施設への理解を深めてもらった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	入館者数(厚生会館)			指標・目標値の説明(算定式)	実績による入館者数を目標値とするもの。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
		8,000.00		8,000.00		8,000.00		8,000.00		8,000.00
	実績値・達成状況	10,144.00	達成	12,114.00	達成	13,474.00				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	2 項	7 目	2 細目	2 細々目	厚生会館施設管理費	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		17,527		17,228		22,477		22,757		22,757
決算額(B)=(C)+(D)		15,042		15,740		19,537				
財源※	特定財源(C)	865		1,053		1,193		1,153		
	一般財源(D)	14,177		14,687		18,344		21,604		
概算人件費(E)		1,975		1,925		1,975		2,430		2,430
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.25	0.00	0.25	0.00	0.30	0.00	0.30
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		17,017		17,665		21,512		25,187		25,187

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
50 ／60	施設が老朽化しているため、戸塚環境センター東棟の建替に伴って、新しい地域住民還元施設が出来るまで修繕しながら使用していく必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

事業名称	戸塚環境センタープラント運営費			担当	環境部	
					戸塚環境センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-295-0131	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	51	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅳ 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進					
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例・同施行規則					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	ごみ焼却施設・破砕機設備		家庭系廃棄物を排出する市民 事業系一般廃棄物を排出する事業者		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	廃棄物を公衆衛生や生活環境の保全上、支障が生じないように処理することを目的とする。		市内の家庭や事業者から排出される廃棄物を安定的かつ適正に処理するため、ごみ焼却施設・破砕機設備の適正な運転管理及び保守管理を行う。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	ごみ焼却施設・破砕機設備の適正な運転管理 ごみ焼却施設・破砕機設備の適正な点検設備		ごみの処理を停滞させることなく、安全かつ安定的に運転することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	ごみ処理量			指標・目標値の説明(算定式)	ごみ焼却量の実績のみ(朝日環境センターとごみ焼却を補完し合っているため、ごみ焼却量の目標値設定は不可能)				
	単位	トン	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし
	実績値・達成状況	61,499.00	—	54,639.78	—	54,425.79	—			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	2 項	7 目	4 細目	1 細々目	戸塚環境センタープラント運営費	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		927,483		995,548		1,192,942		1,200,125		1,235,916
決算額(B)=(C)+(D)		909,049		986,474		1,120,208				
財源※	特定財源(C)	908,440		687,438		413,173		513,490		
	一般財源(D)	609		299,036		707,035		686,635		
概算人件費(E)		136,354		133,749		136,196		139,806		139,806
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	17.26	0.00	17.37	0.00	17.24	0.00	17.26
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		1,045,403		1,120,223		1,256,404		1,339,931		1,375,722

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 ／60	本施設は、老朽化しており、適切な運転管理と点検整備を実施することで、一般廃棄物を安全かつ安定的に処理していかなければならない。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	戸塚環境センターごみ処理事業				担当	環境部
						戸塚環境センター
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-295-0131	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	51	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅳ 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進					
根拠法令等	川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	ごみ焼却施設から搬出される焼却灰等		家庭系廃棄物を排出する市民 事業系一般廃棄物を排出する事業者		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	廃棄物の適正処理		焼却及び破砕による中間処理後の残渣物の再資源化処理及び最終処分		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	埋立による最終処分を削減するため、焼却灰等を溶融スラグや建設資材にする等、再資源化を推進。		複数の最終処分場や再資源化処理プラントと委託契約を締結し、中間処理後の残渣物について安定的な処分を行った。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	焼却灰・残渣金属の再資源化推進			指標・目標値の説明(算定式)	再資源化量の実績のみ(朝日環境センターとごみ焼却を補完し合っているため、再資源化の目標値設定は不可能)				
	単位	トン	指標の種別	活動						
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
		設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし				
	実績値・達成状況	7,155.24	—	5,775.43	—	5,519.95	—			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	2 項	7 目	6 細目	1 細々目	戸塚環境センターごみ処理事業	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		256,489		272,401		263,938		282,429		282,429
決算額(B)=(C)+(D)		235,272		230,871		222,554				
財源※	特定財源(C)	3,224		3,101		2,694		2,943		
	一般財源(D)	232,048		227,770		219,860		279,486		
概算人件費(E)		8,374		8,239		7,505		7,776		7,776
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.06	0.00	1.07	0.00	0.95	0.00	0.96
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		243,646		239,110		230,059		290,205		290,205

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 ／60	残渣物の再資源化を推進することが課題。 今後も残渣物の再資源化研究を進め、安定的かつ適正なごみ処理を行う。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	朝日環境センターごみ処理事業				担当	環境部
						朝日環境センター
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5300	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例・同施行規則		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) ごみ焼却施設から搬出される資源物・焼却灰等	受益者(最終的に受益を受ける人) 家庭系廃棄物を排出する市民 事業系一般廃棄物を排出する事業者	
事業の概要	事業の目的(何のために) 廃棄物を公衆衛生や生活環境の保障上支障が生じないように処理することを目的とする。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) ごみ焼却施設から搬出される資源物の運搬及び焼却灰等の運搬・処分	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ごみ焼却施設から発生する資源物(溶融スラグ)の運搬 ごみ焼却施設から搬出される不燃物残渣(珪藻土)の運搬・処理 ごみ焼却施設から発生する焼却灰等の運搬・埋立処分、資源化処理 (令和5年度ごみ埋立処分実績:3,827.47t)	事業の成果【定性的評価】 安全に運搬及び埋立処分を行った。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	2 項	7 目	6 細目	2 細々目	朝日環境センターごみ処理事業		
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)		223,535		213,525		212,332		239,024		233,504	
決算額(B)=(C)+(D)		204,802		193,549		189,634					
財 源 ※	特定財源(C)	0		0		7,122		28,173			
	一般財源(D)	204,802		193,549		182,512		210,851			
概算人件費(E)		3,950		3,850		3,950		4,050		4,050	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		208,752		197,399		193,584		243,074		237,554	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 ／60	最終処分場を有しない本市においては、他区域における処分場の確保が大きな課題であるが、各処分場の残余期間等当面の問題はなく、引き続き安定的な最終処分の実施に努めていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	朝日環境センタープラント運営費				担当	環境部
						朝日環境センター
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5300	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例・同施行規則		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) ごみ焼却施設	受益者(最終的に受益を受ける人) 家庭系廃棄物を搬出する市民 事業系一般廃棄物を排出する事業者	
事業の概要	事業の目的(何のために) 廃棄物を公衆衛生や生活環境の保全上支障が生じないように処理することを目的とする。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) 市内の家庭や事業者から排出される廃棄物を安定的かつ適正に処理するため、ごみ焼却施設の適正な運転管理及び保守管理を行う。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ごみ焼却施設の適正な運転 ごみ焼却施設の適正な点検整備 (令和5年度ごみ焼却処分実績:87,121.37t)	事業の成果【定性的評価】 ごみの処理を停滞させることなく、安全かつ安定的に運転することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の 説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の 説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	2 項	7 目	5 細目	1 細々目	朝日環境センタープラント運営費			
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)		1,450,872		1,582,194		1,783,596		1,874,496		2,509,681		
決算額(B)=(C)+(D)		1,431,446		1,542,090		1,728,556						
財 源 ※	特定財源(C)	766,396		720,592		707,086		689,709				
	一般財源(D)	665,050		821,498		1,021,470		1,184,787				
概算人件費(E)		18,170		17,710		18,170		18,630		18,630		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.30	0.00	2.30	0.00	2.30	0.00	2.30	0.00	2.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		1,449,616		1,559,800		1,746,726		1,893,126		2,528,311		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 ／60	稼働開始から21年を経過したことから各設備の劣化が激しく、大規模改修工事までの間も相当の補修費がかかる見込みであるが、本事業で実施する日常の適正な運転管理と適切な定期点検整備により、コストを最小限にとどめる。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和5年度

事業名称	鳩ヶ谷衛生センターごみ処理事業			担当	環境部	
					鳩ヶ谷衛生センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	281-5043	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅳ 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、同施行規則				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	粗大ごみから分別された資源物等		・家庭の一般廃棄物のうち粗大ごみを自己搬入する川口市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	・粗大ごみを受理、分別、運搬し廃棄物の適正な処理を行う。 ・粗大ごみを公衆衛生や生活環境の保全上支障が出ないよう処理することで市民の健康で快適な生活を確保する。 ・粗大ごみの再生利用を促進する。		・粗大ごみの受理、分別、運搬 ・資源物の売却	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・市民が自己搬入した粗大ごみを分別し、再生利用できないものは、市内の環境センターに運搬し処分した。 ・鉄やアルミなどの資源物を市内の専門業者に売却した。		・粗大ごみを受理した重量 871.73トン ・資源物(鉄・アルミ・ケーブル類)の売却 重量129.88トン 売却額 423,786円	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	資源物(鉄、アルミ、小型家電)の売却			指標・目標値の説明(算定式)	粗大ごみから分別した資源物を市内の専門業者に売却し、売上げ金を市政の財源に充てる。 目標値…該当年度の歳入予算額				
	単位	金額(円)以上	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
		897,000.00	1,102,000.00	1,067,000.00	508,000.00	0.00				
	実績値・達成状況	1,239,228.00	達成	1,033,153.00	未達成	423,786.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	2 項	7 目	6 細目	3 細々目	鳩ヶ谷衛生センターごみ処理事業				
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度			
予算額(A)		43,201				42,477		43,542		42,256		43,363	
決算額(B)=(C)+(D)		42,699				41,796		42,854					
財 源 ※	特定財源(C)	1,239				1,033		424		508			
	一般財源(D)	41,460				40,763		42,430		41,748			
概算人件費(E)		24,596				29,426		29,402		30,678		30,678	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.24	4.00	2.38	3.00	1.38	5.00	1.38	5.00	1.38	5.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		67,295				71,222		72,256		72,934		74,041	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 ／60	資源物売却は市場が不安定であることから、売却できる品数減少、価格低下が続いている。今後も廃棄物の分別を徹底し、資源物確保を強化する。また、自己搬入件数の増加から、令和5年2月より自己搬入の予約制を導入し、場内外の車両整理、搬入物の円滑な内容確認を図った。今後も利用者が安全で効率的に搬入できるよう対策を検討する	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	し尿収集事業			担当	環境部	
					鳩ヶ谷衛生センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	281-5043	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅳ 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、同施行規則				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・市内のし尿汲取り世帯、事業者 ・市内のし尿汲取り実施業者(し尿処理事業許可業者)		・市内のし尿汲取り世帯、事業者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	・市民の生活環境や公衆衛生に支障が生じないよう、し尿を収集運搬し適切に処理する。 ・水害など災害時に市民の環境衛生を保持するため応急汲取りを実施する。 ・し尿汲取り世帯の費用負担を軽減し、業者を育成する。		・委託業者による、し尿収集運搬(鳩ヶ谷地区) ・し尿処理事業許可業者への助成金の交付	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・委託業者による、し尿収集運搬業務(鳩ヶ谷地区) ・し尿処理事業許可業者への助成金交付 ・し尿汲取り世帯に対する、し尿収集運搬手数料の納付管理、督促		・し尿収集運搬手数料の納付額(滞納繰越分を含む) 1,483,240円 ・市民の費用負担軽減のため、し尿処理事業許可業者14者へ助成金(応急汲取り分を含む)交付 4,449,600円	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	し尿収集運搬手数料の納付額			指標・目標値の説明(算定式)	該当年度のし尿収集運搬手数料の歳入予算額(滞納繰越分を含む)に対して90%以上の納付を目指す。				
	単位	円以上	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
		1,678,500.00	1,459,800.00	1,299,800.00	1,072,800.00	0.00				
	実績値・達成状況	1,909,320.00	達成	1,781,590.00	達成	1,483,240.00	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	2 項	9 目	3 細目	1 細々目	し尿収集事業			
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算額(A)	15,589	15,234	14,718	14,320	14,320					
決算額(B)=(C)+(D)	15,014	14,707	14,267							
財源※	特定財源(C)	1,909	1,782	1,484	1,192					
	一般財源(D)	13,105	12,925	12,783	13,128					
概算人件費(E)	6,557	6,237	6,399	6,561	6,561					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.83	0.00	0.81	0.00	0.81	0.00	0.81	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	21,571	20,944	20,666	20,881	20,881					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 ／60	し尿収集事業は、災害時には市民の健康と公衆衛生保全のため重要となるが、下水道の普及により汲取り世帯が減少し、し尿処理事業許可業者の収集効率の低下と負担増加が問題となっている。し尿処理事業助成金の交付等により、事業が安定して継続できるよう対策を図っていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	し尿処理施設管理費			担当	環境部	
					鳩ヶ谷衛生センター	
事業区分		-	問い合わせ先	281-5043	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、同施行規則				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	・市内で発生するし尿、浄化槽汚泥 ・川口市一般廃棄物収集運搬業許可業者(し尿・浄化槽汚泥)		・市内のトイレ(し尿汲取り方式、浄化槽方式)を利用する全ての市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	・市内で収集したし尿、浄化槽汚泥を適切に処理し、公衆衛生や生活環境の保全上支障が出ないよう、市民の健康で快適な生活を確保する。 ・し尿、浄化槽汚泥処理に伴う環境への負荷を削減する。		・し尿処理施設の運転管理、維持管理 ・し尿処理施設周辺の環境衛生の保全 ・処理後発生する脱水汚泥の肥料・堆肥への再資源化		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	・許可業者が市内で収集した、し尿、浄化槽汚泥を適切に処理し、公衆衛生や生活環境の保全上支障が出ないよう、市民の健康で快適な生活を確保する。 ・し尿、浄化槽汚泥処理に伴う環境への負荷を削減する。		・し尿、浄化槽汚泥の搬入量 34709.71キロリットル、再資源化業者への搬出量 758.65トン ・水質、騒音、振動、臭気、放射性セシウムの環境測定結果は、全て法定基準値内で適正であった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	脱水汚泥の含水率(年間平均)			指標・目標値の説明(算定式)	廃棄物として排出する量を減らすため、また再資源化に適した状態にするため、脱水汚泥の含水率(年間平均)75%以下を目指す。				
	単位	%以下	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	実績値・達成状況	75.00	75.00	75.00	75.00	0.00				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	2 項	9 目	2 細目	2 細々目	し尿処理施設管理費			
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算額(A)	190,780	208,275	212,501	223,291	242,941					
決算額(B)=(C)+(D)	185,045	201,906	211,041							
財源※	特定財源(C)	124	165	123	125					
	一般財源(D)	184,921	201,741	210,918	223,166					
概算人件費(E)		15,089	13,244	13,588	13,932	13,932				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.91	0.00	1.72	0.00	1.72	0.00	1.72	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		200,134	215,150	224,629	237,223	256,873				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 ／60	施設のリニューアル工事から10年以上が経過し、機器の経年劣化による不具合が懸念される。計画的に機器の点検整備を行うとともに、改修工事が必要なものについては、し尿処理施設改修事業で計画的に整備を進め、故障や事故による搬入停止等を未然に防ぐ。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施